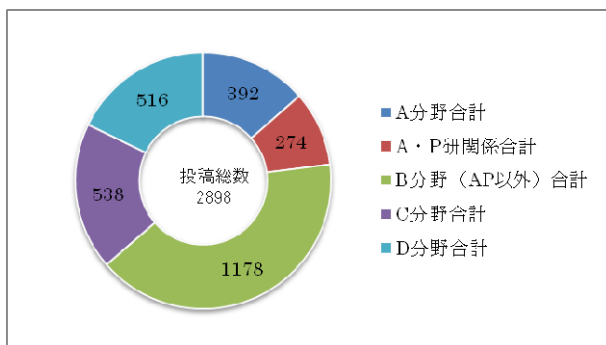




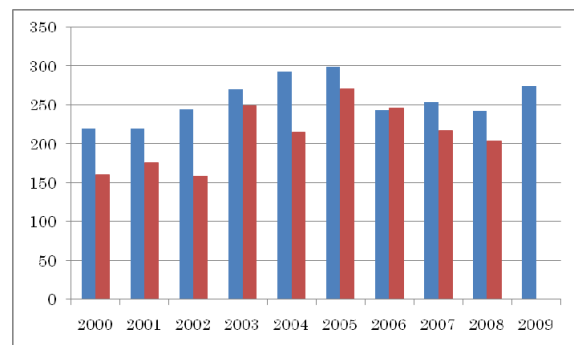
「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第33号をお届けします。  
今回は、2009年3月17日（火）～20日（金）に愛媛大（松山市）で開催される2009年電子情報通信学会総合大会、表彰委員会からの広報についてお知らせします。

### 【1】2009年電子情報通信学会総合大会

1月14日（水）に機械振興会館において、2009年電子情報通信学会総合大会プログラム編成委員会が開催され、大会プログラムが確定しました。下のグラフは投稿ベースでのソサイエティ毎の発表割合とAP研関連の大会発表件数の年次推移です。投稿総数は2898件、本大会に参加する73の研究専門委員会の中で一般講演投稿数を比較すると、アンテナ・伝播研究会が最多で263件、以下、無線通信システム研究会151件、ネットワークシステム研究会148件です。総合大会に限って言えば、AP研関連の大会発表件数はこの数年、250件程度で横ばいの状況です。一方、ソサイエティ大会への投稿数が減少傾向にあるのが気になります。次回のソサイエティ大会は2009年9月15日（火）～18日（金）に新潟大学（新潟市）で開催されます。多くの投稿を期待しています。



ソサイエティ毎の大会発表件数割合



AP研関連の大会発表件数の年次推移

AP研関連では、一般講演以外に下記のシンポジウム、パネル討論を企画しています。是非、ご参加ください。開催日時、場所につきましては、大会プログラムでご確認ください。

- ◆シンポジウム：「BS-1：人体周辺の電波利用に関する最新技術動向」 発表11件  
詳細は2008年12月号の「お知らせ」をご覧ください。

- ◆パネル討論：移動伝搬研究の新しい流れと今後の技術分野

【パネラー】

司会：堀（福井大）

- 1 スケールモデルによる伝搬解析 市坪（九工大）
- 2 FDTDによる伝搬解析 大宮（北大）
- 3 時空間サウンダによる伝搬解析 高田（東工大）
- 4 フェージング伝搬路から得られる秘密情報 岩井（同志社大）
- 5 電波伝搬と位置推定 山田（新潟大）

【趣旨】移動通信環境における電波伝搬については、これまで多くの研究成果が得られています。その解析手法は、フィールド実験やレイトレーシング解析などが主なものでしたが、近年、新しい解析手法が検討されています。また、伝搬研究の対象分野も、通信そのもの以外に広がり始めています。本パネルでは、このような新しい伝搬解析手法や新しい伝搬研究の対象分野を、伝搬研究をリードされている専門家の皆様にご発表頂き、将来の伝搬研究の展望について議論して頂きます。

## 【2】表彰委員会からの広報

AP 研における表彰委員会の活動に関して、表彰委員会の山田幹事(新潟大)より報告して頂きます。

表彰委員会はアンテナ・伝播研究会で活躍されている学生、若手研究者および活動活性化に尽力頂いた方々を表彰し、更なるご活躍と研究会の益々の発展を目的として設置された委員会です。この委員会は委員長、幹事、幹事補佐および専門委員会、論文委員会、国際委員会の各幹事、合計 6 名の委員により構成されております。AP 研の活動を古くからご存じの方は、1999 年まで 12 月に「フレッシュマンセッション」という学生・若手を対象としたセッションを行い、優秀発表者を表彰していたことをご存じの方もいらっしゃるかと思います。このようなセッションを設けることに対し、様々な意見があり、2000 年以降、特別なセッションや表彰は一時休止しておりましたが、そのときの経験を踏まえ、表彰委員会として新たな形で、平成 18 年から再スタートしたものです。

さて、設けられている各賞ですが、まず上期(4~9 月)および下期(10 月~3 月)の各々の期間において、AP 研(第 2 種研究会として主催・共催する国際会議を含む)での優れた発表を行った登壇者を対象とし、6 月・12 月の研究会の際に表彰される賞が 2 つあります。

・**学生奨励賞**：大学院修士までの学生を対象とする賞。各期 2 名程度

・**若手奨励賞**：32 歳程度までの若手研究者を対象とする賞。各期 2 名程度

これらの賞は、アンテナ・伝播研究専門委員会委員を中心とした表彰選定委員会で選考し、研究専門委員会において決定されます。最近の研究会では、著者紹介時に座長から受賞対象者であるとの紹介が行われていることに気づかれた方も多いかと思います。講演を聴講した座長と専門委員からの推薦を踏まえて、表彰委員会において候補者をノミネートしております。発表の際には日頃の研究成果を余すことなくアピールして頂ければと思います。

さらに 6 月の研究会では、前年度の 1 年間を対象とした賞として、以下の各賞の表彰を行っています。

・**最多発表賞**：AP 研等(対象研究集会は奨励賞と同じ)で 3 回以上の発表を行った発表者で、最多の成果報告をした発表者を対象とする賞

・**功労賞**：研究専門委員会、研究会内の各種委員会でご尽力頂いた方、および、研究会活動に著しい功績があった方を対象とする賞

これらの賞にはもちろん年齢や資格制限はございません。残念ながら学生・若手奨励賞の対象とはならない方も、多数の発表や研究会活動へ御参画頂き、アンテナ・伝播研究会を益々もり立てて頂ければと思っております。なお、過去の受賞者と選奨規定はアンテナ・伝播研究会ホームページからご覧頂けます。

このように表彰委員会では、皆様の研究活動、意欲の向上と研究会活動の活性化に向けて活動しております。ご意見、ご希望等がございましたら、お気軽にお近くの専門委員会委員、各種委員会委員へお知らせ下さい。

## 【3】AP 研副委員長の戯言

今シーズンの冬は雪も少なく、それほど寒くもなく、いいなあと思っていたら、この 1 週間は断続的に雪が降り続けました。とはいえ、金沢市内の積雪は最大 10cm 程度で、今日(1/17)は路上の雪はすっかり融けています。近所(白山麓)のスキー場は、例年は 12 月 20 日頃にオープンになるのですが、今シーズンは雪不足のために、一部コースのみ、27 日に延期してオープンということになりました。現在は 300cm 程度の積雪があり、学生たちも、授業やゼミの無い日にはスキーやスノーボードを楽しんでいるようです。

3 月の研究会はマカオで開催されます。「お知らせ」は休刊です。



<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 牧野滋(金沢工業大学)

E-mail: ap\_ac-chair@mail.ieice.org

AP-NET: AP 研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録は AP 研 HP にて

AP 研 HP: <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>